

社保シリーズ

# 歯根分割掻爬術・分割抜歯後の処置と修復

5

社保研究部

今回は、歯根分割掻爬術とヘミセクション(分割抜歯)後の歯冠修復や欠損補綴の取り扱いについて整理する。通例の症例解説ではなく、わからなくなった時に参照いただけるよう解説したい。

## 1. 歯根分割掻爬術とその後の処置と修復について

### 1) 歯根分割掻爬術

歯根を分割して分岐部病変を掻爬し、歯の保存を図った場合に算定する。ただし、根分岐部病変がP由来かPer由来かを病名で表すことになる(表1)。

表1 歯根分割掻爬術

病名	「Per, 分岐部病変」, 「P, 分岐部病変」, 「中隔部肉芽形成」など
算定点数	260点

【疑義解釈】(2010.6.11)

問 歯根分割掻爬術は、歯根分割をせずに根分岐部病変を掻爬した場合に算定できるか。

答 できない。

### 2) 歯根分割掻爬術後の処置と歯冠修復

歯根分割掻爬術後の算定は、最終的に単独冠で修復するのか、ブリッジの支台にするのかで大きく異なる。

#### ①単独冠で修復する場合

歯内療法だけは1歯単位で、その後は支台築造から歯冠修復まで小白歯2歯扱いで、形成時の支台築造印象、メタルコア加算も×2となる。ただし、補綴物維持管理科だけは1歯分となるので間違いやすい。

#### ②ブリッジの支台歯にする場合

歯内療法は1歯単位で単独冠の場合と同じだが、支台築造、歯冠形成は大白歯1歯の扱いになり単独冠とは異なってくる。その中でも、支台築造は実際の形状と算定の単位が異なるため混乱しやすい。その後の印象採得以降はブリッジの装置単位になる(表2)。

表2 歯根分割掻爬術後の取り扱い

	クラウン	ブリッジ
歯内療法	1歯単位	1歯単位
支台築造	小白歯×2	大白歯×1
歯冠形成		
印象採得		
咬合採得	小白歯×2	1装置として (支台歯は大白歯×1)
歯冠修復		
補管	1歯分として	

## 2. 分割抜歯とその前後の処置と修復について

### 1) 分割抜歯

複数根の保存可能歯根を残して分割抜歯した場合に470点を算定する。分割抜歯と同時に歯肉を剥離して歯槽骨整形手術などを行った場合は、分割抜歯に含まれ別に算定できない。分割抜歯にあたり歯冠修復物を除去した場合、その除去料は算定できる。

### 2) 分割抜歯後の処置と歯冠修復

分割抜歯後の算定は、上顎と下顎、さらに単独冠かブリッジか、さらに残す歯根によって取り扱いが大きく異なる。

#### ①単独冠で修復する場合

上顎：6番または7番の3根のうち、いずれか2根を保存した場合は大白歯の扱い

下顎：6番または7番の近遠心2根のうち1根を残した場合は小白歯の扱い

#### ②ブリッジの支台歯にする場合

上顎：6番または7番の3根のうち、頬側2根を保存した場合は、大白歯の扱いでポンティックも不要(図1, 表3)。しかし、頬側1根および口蓋側1根を保存した後の取り扱いは、支台歯は小白歯の扱いとなり、ポンティックも小白歯1歯分が必要になる(図2, 3)。なお、1根のみの保存は歯科医学的に不適切とされている。

分割抜歯後・大白歯扱い  
(P分割抜歯)  
⑥は単冠修復

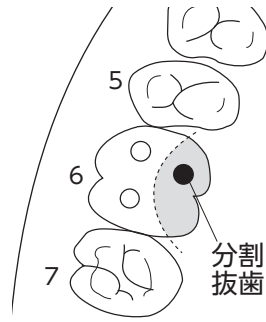


図1

分割抜歯後・小白歯扱い  
(DBもしくはMB分割抜歯)  
⑦⑥⑥ など

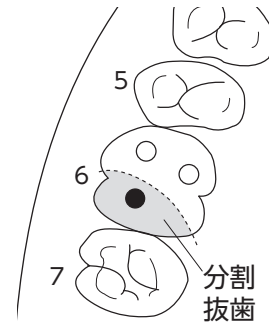


図2

⑥⑥⑤ など

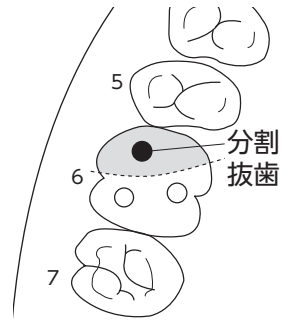


図3

下顎：6番または7番の近遠心2根のうち1根を残した場合は小白歯の扱いとなり、支台歯、ポンティックともに小白歯として取り扱う(表3)。

表3 分割抜歯後の取り扱い

	保存歯根	クラウン	ブリッジ	
			支台歯	ポンティック
上顎	頬側1根 口蓋側1根	大白歯	小白歯	小白歯
	頬側2根	大白歯	大白歯	不要
	1根のみ	×	×	×
下顎	近心根	小白歯	小白歯	小白歯
	遠心根		小白歯	小白歯

### 分割抜歯後のブリッジ適用一覧

(適用の最小設計を例示。2, 4, 5番の延長ブリッジは除外した。)

#### 下顎分割抜歯後のブリッジ

⑤⑥⑥	④⑤⑥⑦⑦	④⑤⑥⑦⑦⑧
③④⑤⑥⑥	⑤⑥⑥⑦⑧	④⑤⑥⑥⑦⑦⑧
④⑤⑥⑥⑦	③④⑤⑥⑥⑦	④⑤⑥⑥⑦⑦
④⑤⑥⑥⑦ *1	③④⑤⑥⑥⑦⑦	⑤⑥⑥⑦⑦⑧
④⑤⑥⑥⑦ *2	⑤⑥⑥⑦⑦⑧	⑥⑥⑦ *1
⑥⑥⑦	⑥⑦⑦	⑤⑥⑥⑦⑦⑧
⑤⑥⑦ *1	⑤⑥⑦⑦⑧	*1 7番D分割抜歯
④⑤⑥⑥⑦	⑦⑦⑧	*2 7番は小白歯

#### 上顎分割抜歯後のブリッジ

6番MB分割抜歯	6番MB, 7番MB分割抜歯	6番DB, 7番MB分割抜歯
⑤⑥⑥	③④⑤⑥⑥⑦⑦	⑤⑥⑥⑦⑦⑧
③④⑤⑥⑥	④⑤⑥⑥⑦⑦	
6番DB分割抜歯	⑤⑥⑥⑦⑦⑧	6番DB, 7番DB分割抜歯
⑥⑥⑦		⑥⑥⑦
⑤⑥⑥⑦⑧	6番MB, 7番P分割抜歯	⑤⑥⑥⑦⑦⑧
③④⑤⑥⑥⑦	⑤⑥⑥⑦ *3	
7番MB分割抜歯	6番MB, 7番DB分割抜歯	6番DB, 7番P分割抜歯
④⑤⑥⑦⑦	⑤⑥⑥⑦	⑥⑥⑦ *3
⑥⑦⑦	⑤⑥⑥⑦⑦⑧	
⑤⑥⑦⑦⑧	④⑤⑥⑥⑦	6番P, 7番MB分割抜歯
7番DB分割抜歯	④⑤⑥⑥⑦⑦⑧	⑥⑦⑦ *4
⑤⑥⑦		
④⑤⑥⑦⑦⑧		*3 7番は大白歯で算定
⑦⑦⑧		*4 6番は大白歯で算定